

登録コード	E4206900	開講年度	2026			
授業科目	表現教育演習				担当教員	大島 賢一
英文授業名	The Method of Art and Handicraft Education of Childhood				副担当	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	幼稚園教育における表現の意義と役割について、正しく理解する。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	幼児園教育における表現活動を支えるための基本的な知識、技能を習得する。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	・ 講義により、幼稚園教育要領「表現」領域のうち、特に造形表現について、その意義や目的について理解を深める。 ・ いくつかの造形活動を実際に行い、その演習の中で、特性や教育的効果について理解する。 ・ グループで協力して造形活動体験、模擬保育に取り組む。					
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション 幼稚園教育における表現 幼稚園教育要領を読む(オンデマンド) 第 2 回：幼児教育における造形表現の目的と内容(オンデマンド) 第 3 回：幼児教育における造形表現活動の支援と実施(オンデマンド) 第 4 回：幼児の造形行為と遊びの関係性について(オンデマンド) 第 5 回：幼児の表現と環境1 講義(オンデマンド) 第 6 回：幼児の表現と環境2 演習(オンデマンド) 第 7 回：活動の準備（グループ分けとワークショップによるアイスブレイク） 第 8 回：フィンガーペインティング 第 9 回：小麦粉粘土の制作と体験 第10回：造形活動と遊び 第11回：模擬保育①企画構想 第12回：模擬保育②材料収集 第13回：模擬保育③制作と発表準備 第14回：模擬保育④発表 定期試験 含授業アンケート					
(6)成績評価の方法	(1)演習への参加とその成果物（活動について、小レポート等での報告を行う） 60% (2)授業内容の理解をはかるための定期試験 40% ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	演習への積極的参加に加えて、定期試験において講義内容の理解が見られれば「水準にある」とする。 それに加えて、1)グループワークへの積極的参加、2)グループワークへの貢献、3)定期試験における講義内容を前提とした発展的問題提起、考察、のそれぞれについて、一つが達成できていれば「やや上にある」、二つが達成できていれば「かなり上にある」、三つともが達成できていれば「卓越している」とする。					
(8)事前事後学習の内容	オンデマンド各回については、課題が提示されるので、各自、確実にこなすこと。グループワークについては、それぞれのグループでの事前準備、打ち合わせなどが必要となる。					
(9)履修上の注意	(1)造形表現活動を行うので、服装等ふさわしいもので受講すること。 (2)はさみ、カッターナイフ、のりを持参すること。その他の道具については授業において指示する。 (3)演習科目なので、全時間への出席を履修の条件とする。やむを得ない理由で欠席の必要がある場合は、事前に相談すること。補講によって対応する。 (4)1回目から6回目まではオンデマンドによる実施。7回目からは対面による集中講義となる。7回目実施以前に1回目から6回目までの講義及び演習については終了しておくこと。 (5)集中講義の実施時期については、4月中に指示する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室電話番号026-238-4141 oshima@shinshu-u.ac.jp 適宜対応する。					
【教科書】	文部科学省『幼稚園教育要領 解説』					
【参考文献】	適宜指示する。					